

ほけんだより7月号

2024年7月1日 南ヶ丘こども園

看護師：金森光代

6月は、手足口病が流行し、水ぼうそう(水痘)、溶連菌感染症、アデノウイルス感染症の報告もありました。また、風邪から気管支炎、中耳炎、副鼻腔炎になった子もいました。今年はいつもの以上に、回復に長引く傾向にあります。7月からはプール遊び、水遊びが始まって、いつも以上に体力を使うことや、暑さによる熱中症の危険などもありますので、体調管理に気をつけていきましょう。手足口病、水ぼうそう(水痘)、溶連菌感染症、アデノウイルス感染症は、登園届が必要です。とびひになった場合は完治するまでプールには入れません。

歯科検診の結果のお知らせ

6月21日に行った歯科検診の結果については、虫歯がもも組で2人、すみれ組で3人、さくら組で3人、ゆり組で7人でした。学年を追うごとに虫歯は増加傾向にありました。

虫歯は放っておいても治りません。要治療、要相談があった方は、必ず受診しましょう。

楽しいプールあそびのために

子どもたちが大好きなプールあそびが始まります！楽しく安全にあそべるよう、ご家庭で以下のことをお願いいたします。

- ① 毎日お風呂に入り、洗髪する
- ② つめは短く切る
- ③ 耳鼻科で耳掃除をする
- ④ 朝ごはんをしっかり食べる
- ⑤ たっぶり眠る

かゆみのある湿しんは「とびひ」かも

虫刺されや湿しんなどで傷ついた皮膚に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうができたり、かさぶたができたりして、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひかくと大変！とびひがどんどん広がってしまうのです。治りにくいじゅくじゅくした傷を見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

ほけたちのつめも、忘れずに短く切ってね

高熱に注意！ 夏かぜ

夏かぜを起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。せきや鼻水は少なく、肺炎などに進行することはまれです。夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

- 発熱する
- 目の充血、痛みがある
- のどが赤くはれ、痛みがある
- 口の中やのどに水ぼうがができる
- 体に発しんが出る

これらの特徴がある場合や、いつもと様子が違うときは、必ず受診し、医師の診断を仰ぎましょう。